

公益社団法人愛知県医師会 第33回(定例)理事会議事録

開催日時：平成28年2月18日(木) 午後3時00分～午後5時20分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通

大輪 芳 裕 西山 朗 檜尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子

瀨 瀨 雅 明 細川 秀 一 森 孝 生 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉田 洋 一

欠席者

理事／城 卓 志

議事録作成者 柴田 晃 良

※大輪理事遅刻の為、承認事項1～協議事項7については、24名(うち理事17名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク(理事長 坂本龍雄)の行う「第11期アレルギー大学」〔6/4(土)～12/11(日)〕の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(2) 全国在宅療養支援診療所連絡会第4回全国大会(大会長 野田正治)の行う「全国在宅療養支援診療所連絡会第4回全国大会」〔7/2(土)・3(日)〕の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(3) 日本転倒予防学会第3回学術集会(会長 原田 敦/国立研究開発法人国立長寿医療研究センター病院長)主催の「日本転倒予防学会第3回学術集会」[10/2(日)]の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(4) 第22回日本集団災害医学会総会・学術集会顧問の就任について

市川理事より説明され、本会の柵木会長の顧問就任が承認された。
任期は平成28年1月28日から平成31年1月27日までの3年間。

(5) 地域医療再生に関する多職種連携協議会 [3/20(日)] の講師招聘について

市川理事より説明され、本会の野田理事及び宮治多職種連携協議会委員長の講師派遣が承認された。

(6) 刈谷医師会(会長 斎藤敏明)主催の在宅医療推進のための多職種連携研修会—在宅医療における多職種の役割と機能を理解する— [4/9(土)] の講師派遣について

市川理事より説明され、本会の野田理事の講師派遣が承認された。

(7) 警察本部留置施設を担当する警察医の推薦について

市川理事より説明され、資料の通り承認された。
任期は平成28年4月1日～平成29年3月31日までの1年間。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

*は共催・協賛等

柵木会長より、以下のNo.1～10の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	2/25(木)	日医代議員と本会役員との合同協議会	5階医師連盟会議室	市川理事 樫尾理事
2	3/1(火)	愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	7階研修室	城(義)理事 細川理事
3	3/1(火)	愛知県医師会無線システム災害想定訓練	7階情報センター	城(義)理事 細川理事
4	3/4(金)	共同施設委員会	601会議室	樫尾理事 加藤理事
5	3/7(月)	第2回医療関連職検討委員会	501会議室	大輪理事 伊藤(健)理事
6	3/8(火)	愛知県医師会地域医療政策研究機構勉強会	5階医師連盟会議室	伊藤(健)理事 大輪理事
7	3/14(月)	ホームページ・IT化対策委員会	805会議室	吉田理事 瀨瀨理事

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
8	*3/19(土) *3/21(月・祝) *3/23(水) *3/25(金) *3/26(土)	平成 28 年度診療報酬改定に伴う集団指導	名古屋市公会堂他	樫尾理事 加藤理事
9	3/30(水)	第 4 回会員相談窓口事例検討会	501 会議室	加藤理事 大輪理事
10	6/12(日)	第 7 回 災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	9 階大講堂	城(義)理事 細川理事

3. 愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会の委員委嘱について

伊藤(健)理事より説明され、名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター外部連携部門長の小林大介先生の委嘱が承認された。

委嘱期間は、事後となるが平成 28 年 2 月 15 日(愛医研開催日)より平成 27 年度事業の決算に関する定例代議員会の終結の時まで。

4. 救急委員会委員の変更について

城(義)理事より説明され、名古屋市立大学病院増田和彦先生から服部友紀先生への変更が承認された。

5. 平成 27 年度難病保健活動研修 [2/26(金)] 講師派遣について

(名古屋市健康福祉局健康増進課主催：なごや人権啓発センター)

加藤理事より説明され、職員 1 名の派遣が承認された。

6. 愛知県国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会委員の推薦について

樋口理事より説明され、5 名の推薦が承認された。

—協議事項—

7. 入会金の徴収猶予申請について

西山理事より説明され、名古屋市医師会より申請があった入会金徴収猶予申請が承認された。

8. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 中部医師会連合第8回常任委員会〔2/3(水)〕について

(中部医師会連合主催：マリオットアソシアホテル)

柵木会長より、第136回日本医師会臨時代議員会での代表質問を愛知県、個人質問を福井県から行うこと等が報告された。

2. 日医第6回医療政策会議〔2/5(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、平成26・27年度医療政策会議報告書(案)の説明が行われたと報告された。

3. 日医第8回病院委員会〔1/29(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(健)理事より、本年度最後の病院委員会が開催され、松田委員長の答申原案に対して、さまざまな意見が出されたと報告された。必要病床数は現在のDPCを含めた診療報酬の出来高単価での四分類による患者数を、稼働率と2025年の人口推計で勘案したものであるため数字自体は患者数を表していると考えべきであり、この点が理解されやすい表現に改めてはどうか、さらに公立病院の地域包括ケアにおける位置づけの文言に議論が集中したが大筋で松田試案は了承されたと説明された。

4. 日医第8回救急災害医療対策委員会〔2/4(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

城(義)理事より、諮問に関して今回でまとめを行い、メディカルコントロールを救命士との呼び方と区別し、地域包括ケアシステムでは「医療統括体制」と呼ぶこととしたと報告された。「時々病院 ほぼ在宅」その中で、高齢者の救急搬送では、地域の医師会の医療統括体制が必要となると説明された。また、東京オリンピック対策の会合がスタートしたと説明された。

5. 日医第9回産業保健委員会〔2/4(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

西山理事より、ストレスチェック支援事業へ日本精神科産業医協会からサポートの申し出があったと報告された。また、職場における風疹対策では、医療機関外の場所で行う予防接種の実施について説明があったと報告された。

6. 平成27年度予防接種事業に関する伝達講習会〔1/31(日)〕について

(名古屋市医師会主催：鯉城ホール)

額瀨理事より、午前・午後の2回の伝達講習会が行われ、4月からのB類疾病の

広域化について説明を行ったと報告された。

【本会関係会議について】

7. 健康教育委員会〔2/3(水)〕について

(804 会議室)

吉田理事より、平成 27 年 12 月、平成 28 年 1 月実施の健康教育講座について報告され、平成 28 年 4 月から平成 28 年 7 月までの健康教育講座の予定を確認したと説明された。また、あいち健康ナビの今年度の実施状況について報告された。

8. 広報委員会〔2/10(水)〕について

(501 会議室)

吉田理事より、編集後記執筆状況及び校正班分担の確認、3/15 号以降のトップ原稿の状況について報告し、5/1、5/15、6/1 号表紙作品については協議し、候補作品を決定したと報告された。また、広告審査について協議の結果、1 件の掲載を了承し、「栄かいわい」投稿作品については掲載保留としたと説明された。

9. 医師会史編集委員会〔2/10(水)〕について

(501 会議室)

吉田理事より、70 周年記念誌の構成内容等について資料により協議したと報告された。また、愛知県医師連盟史の作成について協議し、今回も先回同様、別冊として作成することとしたと説明された。

10. 救急委員会〔2/2(火)〕について

(7 階研修室)

城(義)理事より、報告事項では、2 月 1 日までに行われた関係会議等について、協議事項では、第二種免許に係る応急救護処置指導員養成講習会への講師派遣・第 7 回災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会・救急医療人材養成備品等整備事業補助金等について議論を行ったと報告された。

11. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練〔2/3(水)〕について

(一宮市医師会館)

城(義)理事より、名古屋市南部を震源とするマグニチュード 7.4 の地震が発生し、愛知県医師会も被害を受けた想定で、一宮市医師会を基地局としての訓練を実施したと報告された。医師会 13 機関、災害拠点病院 10 機関、基幹病院 8 機関の合計 31 機関が参加し、無線交信、広域災害システム(EMIS)への入力訓練、メール・FAX での情報収集を行い、一部他業務で即時対応ができなかった機関を除き、滞りなく終了したと説明された。

12. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔1/26(火)〕について

て

(6階研修室)

加藤理事より、事例報告・検討(平成27年12月分)は、新規事例81事例、継続相談13事例/25回 総計107回(歯科1事例)であり、処置料の請求、溶連菌検査キットの使用方法について報告され、予防接種と保険診療について協議を行ったと報告された。

13. 治験審査会 [1/29(金)] について

(601会議室)

加藤理事より、継続審査7件(大うつ病3件、統合失調症2件、アルコール依存症・認知症各1件)については、すべて承認されたと説明された。

14. 臨時監事会 [2/9(火)] について

(804会議室)

西山理事より、岩瀬監事、可世木監事、榊原監事による臨時の監査を受け、適正に処理されているとの講評がなされたと報告された。

15. 社保指導委員会 [1/26(火)] について

(801～803会議室)

榎尾理事より、新規個別指導の3月までのスケジュール調整が終了し、今年度実施が予定されていた分を実施することができることとなったと報告された。また、鈴木支基金審査委員長より低薬価薬剤の審査等の具体的取扱いについての説明と第6回保険診療と審査を考えるフォーラムについて案内があったと報告された。

16. 第2回精度管理委員会 [1/29(金)] について

(804会議室)

榎尾理事より、今年度実施した精度管理調査について、各分野担当委員より報告があり、また、2/12(金)に開催する精度管理研修会の内容について検討を行ったと報告された。

17. 第6回男女共同参画委員会 [2/4(木)] について

(801会議室)

伊藤(富)理事より、「イクボス大賞」について討議が行われ、こうした賞を創設することに関しては概ね賛同が得られたが、具体化には今後時間をかけた検討を重ねる必要があると継続審議としたと報告された。

柵木会長より、今回だけのことであれば良いが、今後も続けていくということであれば、委員会レベルで決定するのではなく、理事会協議が必要であると発言された。

18. 医療安全対策委員会〔1/19(火)〕について

(803・804 会議室)

細川理事より、平成28年1月分委員会提出案件23件(新規13件、解決10件)について検討したと報告された。

19. 生涯教育委員会〔2/9(火)〕について

(501 会議室)

森理事より、平成26年度生涯教育制度集計結果並びに平成27年度日本医師会生涯教育講座の実施について報告を行ったと説明された。来年度からの日本医師会生涯教育講座は、共通科とプライマリ・ケア講座を廃止することとなり、生涯教育制度の見直しについて及び変更に伴う本会の対応について説明したと報告された。

20. 「現代医学」誌編集委員会〔1/28(木)〕について

(501 会議室)

山本副会長より、「現代医学」誌投稿規定及び64巻2号(平成28年12月掲載)へのテーマ、執筆依頼者について協議を行ったと説明された。また、日医libへの掲載を決定したと報告された。

21. 在宅医療サポートセンター実務者協議会／実務者養成研修会〔1/29(金)〕について (9階大講堂)

野田理事より、訪問調査における指導事項、事業実績報告作成にかかる留意事項などについて説明を行ったと報告された。中間報告では豊橋市医師会サポートセンター・中核センターより事業の進捗と課題に関する発表があり、地区間による情報共有がなされた。実務者養成研修会では国立長寿医療研究センター在宅連携医療部・三浦部長と同部・後藤研究員より「地域医療構想と在宅医療整備の関係」などをテーマにご講演いただいたと説明された。

22. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo.1~4の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	2/2(火)	産業医研修会	27名	西山理事
	2/3(水)		105名	市川理事
2	2/3(水)	医療安全に関する講演会	320名	細川理事 森理事
3	2/4(木)	新入会員等説明懇談会	59名	市川理事 樫尾理事

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
4	2/6(土)	平成 27 年度メンタルヘルスケア研修会	74 名	西山理事 市川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

23. 名古屋陽子線治療センター運営会議 [1/27(水)] について
(名古屋市西部医療センター病院主催：名鉄グランドホテル)
柵木会長より、開設から現在までの患者動向、総合プロトコール症例の検討について説明があったと報告された。
24. 愛知県がん研究振興会理事会 [2/10(水)] について
(愛知県がん研究振興会主催：愛知県がんセンター)
柵木会長より、第 41 回(平成 28 年度)がんその他の悪性新生物研究助成募集要項について説明があったと報告された。
25. 保険診療と審査を考えるフォーラム [1/30(土)] について
(社会保険診療報酬支払基金愛知県支部主催：ウインクあいち)
伊藤副会長より、政策研究大学院大学の島崎謙治教授より「国民皆保険における社会保険診療報酬支払基金の役割」を、愛知県社会保険診療報酬請求書審査委員会の渡辺秀輝審査委員より「コンピュータ導入後のレセプト審査—その現状と課題—」をテーマに基調講演が行われ、パネリスト発表では私(伊藤副会長)からも話をしたと報告された。
26. 支払基金幹事会 [2/10(水)] について
(社会保険診療報酬支払基金愛知県支部主催：支払基金)
伊藤副会長より、平成 26 年度の医療保険分診療報酬等の平均値を基に全支部の状況を医科、歯科、調剤別にグラフ化して説明があったと報告された。また、規制改革会議健康・医療 WG の動向、平成 28 事業年度支払基金審査支払手数料等について説明された。
27. 平成 27 年度愛知県学校保健会 第 2 回役員会 [2/10(水)] について
(愛知県学校保健会主催：愛知県歯科医師会館)
伊藤副会長より、平成 27 年度事業報告・決算見込み、平成 28 年度事業計画(案)・予算(案)の承認を受けたと報告された。
28. 平成 27 年度第 2 回愛知県健康づくり推進協議会 [2/3(水)] について
(愛知県主催：愛知県議会議事堂)
横井副会長より、「健康日本 21 あいち新計画」は、平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間を計画期間として策定しており、計画期間の中間年度(平成 29 年度)

には中間評価を行い、必要に応じ内容の見直しを行うこととしていると説明された。今回の会議は、健康増進部会、がん対策部会、歯科口腔保健対策部会の3つの専門部会から報告があり、健康づくり施策の現状と今後の方向性について討議したと報告された。

29. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会・第48回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会〔1/30(土)・31(日)〕について

(若年者心疾患・生活習慣病対策協議会主催：ホテル六道湖)

吉田理事より、1月30日(土)午後、学術委員会、理事会、ならびに懇親会が、31日(日)48回総会が横倉日医会長、石川、道永両日医常任理事を迎えて、小村島根県医師会長の下、開催されたと報告された。また、理事会ならび評議員会にて、次々回(第50回)を愛知県医師会が担当することが決定、承認され、総会で報告されたと説明された。

30. 愛知県原子力災害対策推進ワーキング(平成27年度第1回被ばく医療ワーキング)〔1/26(火)〕について

(愛知県主催：県災害情報センター)

城(義)理事より、緊急被ばく医療は、原子力災害医療調整官が医療統括を行い、傷病者のスクリーニング・除染は医療機関で、その他は保健所に対応すると説明された。本県は、原発がないので、安定ヨウ素剤は備蓄しない。また、今後GMサーベイメーターを各保健所に配置する予定であり、放医研、長崎大、弘前大、広島大、福島医大が高度被ばく医療支援センターとなったと報告された。

31. 平成27年度愛知県災害医療コーディネーター研修〔1/30(土)・31(日)〕について

(愛知県・愛知医科大学病院・愛知県医師会主催：9階大講堂)

城(義)理事より、保健所・地域災害医療コーディネーター・医師会の医師などを対象に、愛知県・愛知医大・愛知県医師会の共催にて開催され、NPO災害医療ACT研究所の指導により、30日は36名、31日は54名が参加したと報告された。

「愛知県の災害医療体制」、「研修の意義」の講義の後、災害を想定し統括本部の設営法、情報の処理、運営方法の演習を行ったと説明された。

32. 名古屋市救急医療(時間外等)対策に関する懇談会〔2/1(月)〕について

(名古屋市主催：名古屋市公館)

城(義)理事より、名古屋市の救急医療体制は、1次体制の内科・小児科は市医師会急病センターと各区休日急病診療所に対応していると報告された。外科系は4ブロック分けて各1病院の輪番当直を実施しているが、市からの補助金がなく、閉院した病院もあり、3次病院への搬送が増えており、死亡例の3次病院への搬送も問題となっていると説明された。

33. 平成27年度第2回救急業務高度化推進協議会正副会長会〔2/5(金)〕について
(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：愛知県議会議事堂)
城(義)理事より、ビデオ喉頭鏡導入は、救急医の抵抗があり、1年かけて検討を行うこととしたと報告された。また、心肺蘇生法プロトコールの変更があり、胸骨圧迫は5cm～6cmとし1分間に100～120回となった。指導救命士の創設、検証委員会報告では、AEDにて蘇生した患者に点滴をしたことは、心原性の症例には輸液はしないというプロトコールに反しているとのことであったと説明された。
34. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち 平成27年度 第11回運営委員会〔2/10(水)〕について
(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：
特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)
城(義)理事より、エコチル調査愛知ユニットセンターよりネグレクト疑いの家族対応の講習依頼があったと報告された。愛知県医師国保のデータヘルス計画でのデータ解析では、1人あたりの医療費は県、国の半分以下であり、疾病別では、がんが32.6%、入院では脳血管疾患、外来では、腎不全が最も多かった。愛知県医療健保は43法人にて申請中で、被保険者1.5万人、平成28年6月1日運用開始予定であると説明された。
35. 愛知県医療安全推進協議会〔1/22(金)〕について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
加藤理事より、愛知県の医療安全対策や愛知県医療安全支援センターの活動報告、相談実績と具体的な事例の報告があったと説明された。
36. 豊田加茂地域産業保健センター第2回運営協議会〔2/3(水)〕について
(豊田加茂地域産業保健センター主催：豊田加茂医師会館)
西山理事より、平成27年度地域産業保健事業実施経過報告では、特定健康相談の事業所訪問数は9/104回であり、長時間労働面接指導は0/24件、メンタルヘルス不調者に対する相談は0人であったと報告された。また、平成28年度地域産業保健事業計画(案)にストレスチェック受検者への相談対応が入り、メンタルヘルス相談を増加させるための協議がなされたと説明された。
37. 尾張北部地域産業保健センター第2回運営協議会〔2/10(水)〕について
(尾張北部地域産業保健センター主催：尾北医師会館)
西山理事より、平成27年度事業実績(4～12月)は、26年度に比べ職場訪問が増加したが、760,136円の赤字であったと報告された。また、平成28年度事業計画(案)では27年度に比べ職場訪問相談を増加させる計画になっている。労働基準監督署の署長及び安全専門官が熱心で、職場訪問40%達成に協力的であると説明された。

38. 愛知県臨床検査標準化協議会定例理事会・推進委員会 [1/29(金)] について
(愛知県臨床検査標準化協議会主催：802・803 会議室)
樫尾理事より、平成 27 年度の事業報告、決算報告、平成 28 年度の事業計画、予算案について審議がされ、了承されたと報告された。今後、愛知県臨床検査標準化協議会の実務者会議で調整していくこととなったと説明された。
39. 平成 27 年度愛知県母子保健運営協議会 [1/27(水)] について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
伊藤(富)理事より、議長には北條泰男小児科医会会長が選出され、「妊産婦・乳幼児を守る災害時ガイドライン(愛知県版)(仮称)」の紹介があったと報告された。
40. 平成 27 年度愛知県麻疹・風しん対策会議 [2/1(月)] について
(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)
瀨瀨理事より、今年度の麻疹の県内発生はみられなかったと報告された。また、風疹に対する妊娠を希望する女性への助成は続けられる予定であると説明された。
41. 平成 27 年度愛知県献血推進協議会 [2/5(金)] について
(愛知県主催：愛知県議会議事堂)
瀨瀨理事より、愛知県の 27 年度の献血目標はほぼ達成可能の見通しで、来年度の献血目標は 278,008 人 1,037,229 単位とほぼ同等とすると説明された。
年齢別では 40 代以上が 56.1%で、若年者の献血が減り続けており、さらに啓発活動に力を入れることとなったと報告された。
42. 平成 27 年度医療安全ワークショップ [1/25(月)] について
(東海北陸厚生局主催：ウインクあいち大ホール)
細川理事より、「医療安全の管理の向上に向けて」をテーマに 8 名の講師から講演が行われ、私(細川理事)からは「医療事故調査制度に関する医師会の取り組み」と題してお話しさせていただいたと報告された。
43. 平成 27 年度愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会 [1/29(金)] について
(愛知県主催：愛知県自治センター)
森理事より、愛知県がん対策推進計画(第 2 期)の推進と今後のがん対策について資料により説明があり、その中で患者向けの冊子「愛知県がんサポートブック」の説明もあったと報告された。また、がん登録等の推進に関する法律に基づく審議会の設置について及び愛知県生活習慣関連調査のアンケート(調査票 A は 38 項目、調査票 B は 22 項目)について報告があったと説明された。
44. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 平成 27 年度第 10 回理事会 [2/4(木)] について

(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：802～804 会議室)

森理事より、第4回常任理事会の報告で、平成28年度事業計画、労働保険事務組合に関するものとしての定款変更、収支予算書についての説明があり、その他、労災医療特別講演会、愛知県整形外科・外科合同審査委員会、損害保険医療協議会専門委員会・総会、産業医研修会について報告があったと説明された。

45. 平成27年度あいちの地域包括ケアを考える懇談会〔2/4(木)〕について

(愛知県主催：愛知県白壁庁舎)

野田理事より、地域包括ケアモデル事業と団地モデル事業の進捗状況報告が議題となり、進捗状況の評価が○△◎で示されたと説明された。事業内容自体ではなく会議が開催出来たか等で評価されていること、団地モデルでは県有地を利用した箱物で地域包括ケアを実現しようとする姿勢にも疑問が呈された。また、県医師会在宅医療サポートセンターについては事業実施率で評価されていることに対してコメントしたと報告された。

46. 第4回愛知県重症心身障害児者療育ネットワーク会議〔2/6(土)〕について

(愛知県心身障害者コロニー主催：安保ホール)

野田理事より、第二青い鳥学園は4月から愛知三河青い鳥医療療育センターとなるが工事の遅れと医師・看護師の確保に苦労していると説明され、ティンクル名古屋は4月から第3病棟がオープンするがショートステイの希望が多く、一宮療育センターでは医師確保が順調に進んでいると報告された。最近では「動ける重症心身障害児(強度行動障害)」についての問題も議論されたと説明された。

47. 平成27年度小児等在宅医療地域コア人材養成講習会〔2/7(日)〕について

(国立成育医療研究センター主催：国立成育医療研究センター)

野田理事より、各都道府県から3～4名、計143名の参加で開催され、講義とグループディスカッションが行われ小児在宅医療・制度・保険の問題点、地域での行政や多職種連携について話し合われたと説明された。また、医療的ケアが多いが大島分類では重症心身障害児とされない子供たちの問題や地域による行政の対応の差、市町村での自立支援協議会に医師が参加して発言することが重要である等の議論がなされたと報告された。

【その他事項について】

48. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成28年2月18日